巻頭特集

とよあけ花マルシェ

これからの新しいイベントのかたち

地域に花の文化を根付かせようと発足した、とよあけ花マルシェプロジェクト。昨年は地元だけでなく遠方からも多くの来場があり、大盛況のうちに閉幕しました。コロナ禍に見舞われた今年、開催に踏み切ったプロジェクトメンバーらの取り組みを取材しました。

豊明に根付いた文化 花のまちを守るために

世界有数の花き市場「愛知豊明花き地方卸売市場」がある豊明市で、花文化を根付かせ地域を盛り上げたいと始まった、とよあけ花マルシェ。切花や鉢花の販売はもちろん、ワークショップ、エディブルフラワーの普及活動など、さまざまな取り組みが実を結び、恒例の行事となりました。5回目を迎える今年はコロナ禍に見舞われ、開始以来の事態になりました。

「5月の連休に開催される、かきつばたまつりも中止を余儀なくされました。官民が協力し、ここまで作り上げてきた豊明市の花文化。コロナ禍でも継続して情報を発信し続けたいと、プロジェクトメンバーが方法を探りました」と産業支援課の深谷忠さん。かきつばたまつりに代わるイベントを考案しました。

需要が最も高まる3月に卒業式や謝恩会などの行事がなくなり、花の価格は半値ほどまで落ち込みました。

そこで農林水産省の対策事業を利用し、売り先のない花を買い上げ、切花1万本を使った巨大な花絵を制作。大河ドラマにちなんで、紅白2頭の麒麟を表現しました。コロナの収束を願い、花絵の中央には「新型コロナウイルス戦終焉祈願」のメッセージを入れています。制作は3日間に及び、延べ50人が参加。見学による三密を避けるため場所は非公開で行われました。制作過程などをまとめた映像をユーチューブで配信したところ、話題を呼びました。

同じくユーチューブで9月に配信した親子花育セミナーも評判は上々。自宅で好きな時間に視聴できる気軽さと、親子の触れ合いが人気を集めました。さまざまな事例を成功させ、新生活様式でのとよあけ花マルシェ開催に向け、準備を進めています。

新生活様式でのイベント 花のある生活をECサイトで

物販事業、ワークショップ共に事前にインターネットで受注し、マルシェ会場では受け取りのみにすることで三密対策をしています。ボトルフラワーや寄せ植え作りなどのワークショップはユーチューブで作り方動画を配信します。自宅で好きな時間にワークショップが楽しめ、作り方を繰り返し視聴できるのも利点です。「講師の手助けがないので、自分で完成させたという達成感が感じられると思います」と産業支援課の井口真奈美さんは微笑みます。

ライン公式アカウントでは、とよあけ花マルシェの活動やイベント情報を発信。毎年好評のスタンプラリーは公式アカウントのショップカードで参加できます。フェイスブックやインスタグラム、ユーチューブなどを活用し、豊明の花文化の普及活動を続けています。三密対策を講じることでウィズコロナで楽しめる新しいイベントのかたちを創造。「コロナ禍はインターネットを使ったイベントの新しい楽しみ方を考える機会になりました。禍を禍だけにせず、コロナ禍がもたらした変化を味方につけていきたいです」。プロジェクトメンバーの挑戦は続きます。

在宅時間がある今だからこそ 花のある生活を楽しもう

「家にこもりがちな今だからこそ、花がある暮らしを楽しんでもらいたい」。土に触れ、天候に心を砕き、植物から季節を感じる豊かさは、人間の本来の姿だと深谷さんは花きの魅力を語ります。

家にいながらとよあけ花マルシェを楽しむ工夫をし、コロナ収束後にはイベントをより発展させていきたい。晴れて来場型イベントが開催できるようになった時に、たくさんの人に来てもらえるよう、認知度を上げることが課題だといいます。「出店やワークショップだけでなく、PRや企画事業などを担う、核になるメンバーを増やしていきたい。もっと市民と協力して花マルシェを盛り上げていきたいです」と今後の目標を語ってくれました。

豊明市役所産業支援課
井口真奈美さん　深谷 忠さん

1万本の切花で作られた、圧巻の花絵。制作の様子を配信したユーチューブが話題を呼びました

とよあけ花マルシェ新しい取り組み

ユーチューブ配信

とよあけ花マルシェプロジェクトの活動やセミナー、ワークショップなどの動画を配信しています

LINE公式アカウント

とよあけ花マルシェの活動、イベント情報やお得な情報を発信。ぜひお友達追加を

ネットショップ「とよあけ花マル」

販売商品／菓子・寄せ植えキットなど
販売期間／11/2(月)～11(水)

イベント商品を事前販売します。割引価格で購入でき、ネット決済して当日会場で商品を受け取るだけ

「とよあけ花マルシェコラム」から生まれた一冊の本

著者 永田晶彦さん
地元から海外まで広く日本の花文化の啓蒙活動に尽力している

「花の文化立国日本　お花の歳時記」

愛知豊明花流通協同組合の永田理事長（とよあけ花マルシェプロジェクトリーダー）が『広報とよあけ』に連載していた「とよあけ花マルシェコラム」を加筆・修正して完成した書籍。豊明市から日本全国に発信された一冊です

豊明福祉会メイツおかしの森ルミエール
☎0562-91-1890
豊明市沓掛町中川81-2

雑貨屋okurimono
☎0562-93-0090(ソノラ)
豊明市三崎町高鴨5-12
ホリーハイツ2F

マリーヌ洋菓子店
☎0562-93-1251
豊明市新田町下一ノ割72-11

ブラウンビーンズ
☎0562-85-3988
豊明市新栄町5-41

Pasta+CafeDining Sonora
☎0562-93-0090
豊明市三崎町高鴨5-12
ホリーハイツ1F

濱蛸
☎070-6580-8880
豊明市三崎町中ノ坪27-1
しおじハイツ1F

ナカノ金物
☎0562-93-1017
豊明市三崎町三崎4-5

鶴の家
☎0562-93-4567
豊明市新田町吉池1-2

おかしの森くるみ
☎0562-85-1963
豊明市間米町敷田1271-106

TOYOAKE HANA MARCHE
とよあけ花マルシェ
スタンプラリー
11/2(月)～30(月)

ライン公式アカウントよりショップカードにて

参加店舗にて対象商品を含む700円以上の購入でスタンプ1つ押印。1日1つまでで、スタンプを4つ集めると、好きな店舗で1,000円相当の景品と先着にて交換できます。

文／横井淑乃　写真／とよあけ花マルシェ事業部提供、八島城二　デザイン／chica